

企業人が使う機器分析入門

◆日時: 2018年10月30日(火) 10:30~16:30

◆会場: 江東区産業会館 第2会議室

◆聴講料: 1名につき54,000円(税込、昼食、資料付)

※会員登録(無料)をしていただいた方には下記の割引・特典を適用します。

・1名でお申込みされた場合、1名につき**49,980円**

・2名同時でお申し込みされた場合、**2人目は無料(2名で54,000円)**

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: 米森技術士事務所 代表 博士(工学) 技術士(化学部門) 米森 重明 氏

これから機器分析を始めようとする方に対して、装置を実際的に利用できるように、ブラックボックス化している現在の分析装置の簡単な測定原理、および何にどのように機器分析装置を適用したらよいかを全体を網羅しながら解説します。また化学が専門でなくても機器分析に必要な分析化学的な項目を必要な範囲に限って簡単に紹介します。

受講後には以下のようなケースでも困らずに機器分析の活用が可能になります。

- ・実際の現場でいかに分析するか(実用的な分析)
- ・どの分析装置でどの順番に分析するか
- ・保有している分析装置のみでいかにアプローチするか
- ・外部を含めて、どのように分析結果を出すか など

40年間のノウハウ・取り組み方をまとめて伝授いたします。

1. 機器分析全体をみて

- 1-1 機器分析で大事なこと
- 1-2 分析サンプルの取り扱い
- 1-3 分析のレベルを考えて

2. 見る・観る分析

- 2-1 まず見ることの重要性
- 2-2 形態観察の手法
- 2-3 光を使う観察
- 2-4 電子などを使う観察

3. 分ける・決める分析

- 3-1 分ける方法(分離分析の装置と活用法)
- 3-2 決める分析(構造解析の装置と活用法)
- 3-3 異物の解析
- 3-4 有機材料の総合的な解析

4. 測る・量る分析

- 4-1 無機材料の定量分析
- 4-2 有機材料の定量分析
- 4-3 微量なものの定量分析

5. その他の分析

- 5-1 表面分析の装置と活用法
- 5-2 熱分析の装置と利用
- 5-3 非破壊・現場での分析装置

6. 装置の組合せ

- 6-1 複合化された装置の利用
- 6-2 保有している装置を組み合わせ

7. まとめと質疑

- 7-1 分析装置の全体観と使い方のまとめ
- 7-2 抱えている問題への解決法(皆様からのご質問により)

『機器分析入門』セミナー申込書

会社・大学			
住所	〒		
電話番号		FAX	

お名前	所属・役職	E-Mail
①		
②		

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

Eメール 郵送

● セミナーの受講申込みについて ●

左の申込みフォームに必要事項をご明記ください。お申込み後は、弊社より確認のご連絡をいたしまして受講券、請求書、会場の地図をお送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>